

2月



校長室だより

平成28年2月 大阪市立淀川中学校 校長 二上和正

1年生百人一首大会



1年生が体育館で三人一組のクラス対抗で取り札の枚数を競い、そのクラスごとの合計でクラス順位を決めるというルールで百人一首大会を行いました。

国語の授業、また冬休みの宿題としても学習していたと言うことでしたが、「ひさかたの・・・」「田子の浦ゆ・・・」などと読み出しただけで、素早く札を取る生徒たちがたくさんいたのにはびっくりしました。余りに早いので思わず確認したところ、見事にお手つきではありませんでした。我が身に比べ生徒たちの記憶力の良さには、本当に驚かされました。

百枚の札を最後まで見事取りきり、大会を終えました。約2時間の間、集中力を切らす生徒もなく、狙っていた札が取られて悔しがったり、みんな盛り上がっていました。



3年生校長面接



毎年1月、私立高校受験を控えた3年生を対象に校長面接を行います。今年も6人一組の集団面接で行いました。まず入室の際のノック・礼に始まり、着席するまで。生徒たちはみんな緊張の面持ちです。TPOをわきまえた立ち居振る舞いが社会では必要です。面接という公の場では当然親しい友人と接するようなわけにはいきません。服装や相応しい着こなしが求められます。

いすに座り、ひとりひとりが自分の頭髮・制服・手の置く位置を確認します。次に丁寧な言葉づかい、また「・・・です。」「・・・ではありません。」など言葉

の最後をはっきりと話すよう心がけ、尋ねられたことに対して初対面の人にも分かるように話をすること。決して単語を並べただけの会話にならないように気をつけること。

最後に入学してどんなことを頑張りたいか。目標をしっかりと答えられるように事前に考えておくこと。ただ何となく高校生活を送らないためにも入学に際して、しっかりと目標を定めることが大切である。高校に入学することが目的ではなく、どんな高校生活を送るかが最も大切であることをしっかりと考えておいてほしい。もし、「本校を受験校として、最終的に決めたのは誰ですか？」と尋ねられたら、胸を張って「自分です。」と答えなさいと、全生徒に話しました。

☆☆☆与謝蕪村銅像除幕式に

参加させていただきました☆☆☆

1月23日(土)淀川神社境内に建立された与謝蕪村の銅像の除幕式が行われ、私も参加させていただきました。「菜の花や 月は東に 日は西に」真っ先に浮かぶ蕪村作の俳句です。58歳の蕪村が六甲の摩耶山を旅した折の作品とのこと。中学校の授業で初めてこの俳句に触れたとき、黄色く色づいた菜の花が野原一面に広がり、春のおぼろ月が姿を現し、日は山の彼方に沈む。春の何か眠気を誘うようなうっとりとした景色が目には浮かんだのを、懐かしく思い出します。

除幕式の際、来賓の方が、明治初期まで与謝蕪村は画家として世に知られていたが、後に正岡子規が蕪村の俳句を世に知らしめ、その結果俳人としても高く評価されるようになったとお話されていました。

江戸に出るまでの二十歳近くまで毛馬の地で過ごし、以来帰郷したことはない。「春風や 堤長うして 家遠し」の句碑が残る「春風馬堤曲」には奉公先から実家に帰省する少女と毛馬の堤で出会い、少女に代わってその思いを述べるとして十八の俳句が納められています。しかし、それは虚構であり、実際は六十歳を越えた蕪村自身の望郷の思いを少女に託したと考えられています。

今年は生誕三百年と言うことで、蕪村に関する記念式典が日本各地で計画されているそうです。



・・・2月の主な行事・・・

1日(月)・・・3年学年末テスト	2日(火)1・2年英語能力判定テスト
10日(水)11日(祝)3年私立高校入試	16日(火)1年合唱コンクール
19日(金)1年薬物乱用防止教室	22日(月)23日(火)3年特別選抜入試
24日(水)～26日(金)1・2年学年末テスト	※3年生は必要に応じ進路懇談を行います。

